

平成29年第10回定例教育委員会会議

- 1 日 時 平成29年10月20日（金曜日）
午後3時30分～午後4時20分
- 2 場 所 富士見市役所 分館3階会議室
- 3 出席委員 教育長 山口 武士
委 員 小野寺 巧
委 員 簗輪 菊雄
委 員 大久保 春美
委 員 五十嵐 洋太
- 4 欠席委員 なし
- 5 署名委員 委 員 簗輪 菊雄
- 6 説明職員 教 育 部 長 木村久志 南畑公民館長 山岸仁史
教 育 部 長 北田裕一 水谷公民館長 富塚一資
副館長兼教育政策課長事務取扱 林 みどり 水谷東公民館長 山崎哲正
生涯学習課長 鳥海謙一 水子貝塚資料館長 加藤秀之
学校教育課長 辻口幸恵 学校給食センター所長 小泉 肇
小中学校連携教育推進担当課長 藤谷健二 教育相談室長事務代理 関口循子
鶴瀬公民館長 新井益雄
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題及び議事の概要

日程第一 議事事項

議案第35号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
〔顛末〕 原案のとおり議決した。

その他

- (1) 第15回なんばた青空市場について
- (2) 富士見市民大学開設40周年事業「記念講演会」について
- (3) 第34回水谷文化祭について

(4) パークヨガ体験講座及びはじめての俳句講座について

会議の進行状況

教育長	開会宣言（午後3時30分）
事務局	前回の会議録朗読
教育長	署名委員に簗輪菊雄委員を選任します。

日程第一 議事事項

議案第35号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

【説明】

教育長	教育部長から提案理由をお願いします。
教育部長	提案理由を説明。
教育政策課長	資料に基づき概要を説明。

【質疑内容概要】

教育委員	基本方針Ⅰの「教育相談体制の充実」から、貧困問題としての相談件数はどれくらいあったのでしょうか。
教育相談室長	貧困問題のみの件数としては捉えていませんが、障がい福祉課の子どもを守る地域協議会と連携して相談に取り組む必要があると考えています。
教育委員	子ども未来応援センターと連携して、各家庭の経済状況に関わらず、全ての子どもが学齢期に同じスタートラインに立てるように対策に取り組むようお願いします。
教育相談室長	教育相談室として教育の相談にしっかりと取り組むとともに、市長部局といろいろな形で連携して相談活動の充実に努めてまいります。
教育委員	基本方針Ⅰの「教育相談体制の充実」から、小中連携支援プロジェクトチームについてですが、不登校対応指針やコンサルテーションの在り方を話し合われていますが、学校の中でどのように活用されているのでしょうか。
教育相談室長	以前から行っている小中連携支援シートとコンサルテーションシートを教育相談主任等の研修会や生徒指導の巡回相談などで活用し、学校の中で実際にどのように支援されているかなどを見ています。
教育委員	コンサルテーションシートの活用により、不登校の子どもたちが少しでも減る、あるいは増えないことを期待しています。

- 教育委員 基本方針Ⅰの「生徒指導の充実」から、いじめの早期発見・早期対応をするために、どのような教職員の研修を行うのでしょうか。
- 教育相談室長 教育相談室で行っているピアサポート事業がその一つにあたります。
- 教育委員 先生の研修はどのように行っているのでしょうか。
- 学校教育課長 生徒指導主任等研修会を学期に1回、年3回実施しています。平成28年度の第1回は、各学校のいじめやネットトラブルの現状と児童生徒の状況について、第2回は事例研修と児童生徒の情報交換、第3回は生徒自身が作るインターネットの活用のルールをテーマとし、積極的に生徒指導の手法について研修を行なっています。
- 教育委員 研修会に参加された先生が、自身の学校で、その成果を生かして取り組んでいるということでしょうか。
- 学校教育課長 ご指摘のとおりです。
- 教育委員 基本方針Ⅰの「学校・家庭・地域の連携」から、中学校の保護者や地域の人の活動が学校の教育水準向上にとっても効果があったと回答した学校数が3校となっていますが、なぜ少ないのでしょうか。
- 学校教育課長 効果があったと回答した学校は全校ですが、そのなかで、とても効果があったと回答した学校が3校となっています。
- 教育委員 私も参加している富士見市青少年育成市民会議では、8月に夏休み宿題教室を開催しています。この教室に、校長先生が子どもたちを励ましにいらっしゃるのですが、学校内で連絡がうまくいっていないのか、いらっしゃらないときもあります。子どもたちやスタッフの士気が高まりますので、校長先生に毎回いらしていただけるように伝えてください。
- 学校教育課長 校長会等を通じて伝えます。
- 教育委員 基本方針Ⅱの施策「子ども読書活動の推進」についてお聞きします。平成27年度に中央図書館の司書によって西中学校で行われていたブックトークについて、継続をお願いしましたが、今回の評価では28年度に行われたかがわかりません。読書量は、学力の土台にもなる非常に重要なものなので、教育の大きな課題となるはずです。1人が年間に100冊から200冊を読むような先進事例もあります。また、県内でも読書日本一のまちを目指す自治体もあります。富士見市でも積極的に活動していただきたいと思います。
- 生涯学習課長 西中学校のブックトークは、28年度も継続しています。ご指摘の課題については、平成30年度からの第3次富士見市子ども読書活動推進計画にも載せ、事業を展開します。

- 教育委員 基本方針Ⅱの施策「学校・家庭・地域の連携」にある、地域子ども教室に関して、点検項目「発展性」の評価が「現状のままでの発展は難しい。今後の方向性について検討する必要がある。」となっています。この詳細についてお聞きします。
- 生涯学習課長 地域子ども教室は、平成28年度に鶴瀬小学校区に復活し、現在は全小学校区にあります。鶴瀬小学校の地域子ども教室は、スタッフの確保ができなかったために休止していましたが、その他の地域でも、スタッフの高齢化など、今後も安定して続けていくうえでの課題があることから、ご指摘のような評価となっています。
- 教育委員 本市の地域子ども教室は非常に活発で、県内でもトップクラスだと思います。スタッフの方も大変だと思いますが、続けていただきたいと思います。
- 教育委員 基本方針Ⅱの施策「地域社会を創る学びあいの機会の充実」にある、まちづくり協議会は、平成27年度に発足しましたが、方向性が定まっていないように感じます。水谷地区では、初年度は防災訓練を行いました。それまで地区社会福祉協議会が行っていたものと同じ内容でした。役員も町会長が務めるので、地区社会福祉協議会と同じです。何をやる組織なのかわからない状況です。つくった以上は、方向性を示していただきたいと思います。
- 水谷公民館長 私は、懇談会のような準備段階から携わってきました。当初、町会活動と重複するのではないかというご意見が多くありましたので、5町会が集まるからこそできる取組みをしようということになりました。この話合いのなかで、共通の課題は防災ということで、地区社会福祉協議会とともに、合同防災訓練を行うことになりました。今後の活動については、鎌倉道の整備や学校周辺のパトロールなどの案が出ています。公民館は事務局ではありませんので、研修や学習会などに協力することを考えています。
- 教育委員 水谷地区の5町会は、地域によって人口や居住年数も違うため、まちづくり協議会として活動するのは難しいと思います。
- 水谷公民館長 ご指摘のような難しい点があるので、防災のような共通の課題に関する取組みを進めています。今後も、公民館はまちづくり協議会に参加・協力します。
- 教育長 「議案第35号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」を議決してよろしいでしょうか。

〔各委員賛同〕

教育長 「議案第35号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」は議決されました。

その他

(1) 第15回なんばた青空市場について

【説明】

南畑公民館長 資料に基づき概要を説明。

【質疑】

なし

(2) 富士見市民大学開設40周年事業「記念講演会」について

【説明】

鶴瀬公民館長 資料に基づき概要を説明。

【質疑】

なし

(3) 第34回水谷文化祭について

【説明】

水谷公民館長 資料に基づき概要を説明。

【質疑】

なし

(4) パークヨガ体験講座及びはじめての俳句講座について

【説明】

水谷公民館長 資料に基づき概要を説明。

【質疑】

なし

教育長 閉会宣言（午後4時20分）